



2005年6月24日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 竹中 登一
コード番号 4503
(URL <http://www.astellas.com/jp>)
東証・大証・名証(各第一部)、札幌
決算期 3月
問い合わせ先 広報部長 田中 昭弘
Tel:(03)3244-3201

会社分割による原薬生産部門の分社化に関するお知らせ

アステラス製薬株式会社(本社:東京、社長:竹中 登一、以下「アステラス製薬」)は、本日開催された取締役会において、2006年4月1日付けで、高萩事業場における原薬製造機能を集約・統合し、会社分割により新たに原薬生産子会社を設立することを決定しましたので、お知らせします。

現在 高萩事業場には、高萩工場、合成技術研究所、原薬推進部、ならびに生物工学研究所がありますが、今回の決定により、高萩工場、合成技術研究所の治験用原薬製造・分析機能、および原薬推進部の事業場管理機能をアステラス製薬本体より分割し、新たに設立する原薬生産子会社に集約することになります。これによって新設される子会社は、治験用から最終製品向けの原薬製造機能を有することになり、治験用原薬の適時・的確な供給、スムーズな新製品生産への対応、アステラスグループにおける製品の安定供給ならびに原薬製造技術向上に寄与することを目指していきます。

アステラス製薬は日本、欧州、米国等に生産拠点を有しており、既にグローバルな生産体制を構築しています。このうち日本では、生産子会社として、アステラス東海株式会社、富山フジサワ株式会社(注)、静岡フジサワ株式会社(注)がありますが、今回の分社化により、原薬を含めたすべての生産機能が生産子会社に移管されることになります。アステラス製薬では今後も企業価値の継続的向上を図るため、引き続き技術・生産体制の見直しを進めると共に、グローバル競争力の強化を目指していきます。

(注)富山フジサワ株式会社、静岡フジサワ株式会社は2005年10月1日付けで、それぞれアステラス富山株式会社、アステラス静岡株式会社に商号変更いたします。

このたびの決定に伴い発足する新生産会社の概要は以下のとおりです。

[記]

1. 新生産会社の概要

会 社 名： 未定

発 足 年 月： 2006年4月1日

本 社： 茨城県高萩市

代 表 者： 未 定

資 本 金： 未 定

総 資 産： 未 定

従 業 員 数： 約 100 人

事 業 内 容： グループ内の原薬の受託製造、開発用原薬の受託製造、原薬技術開発・原薬製造に係わる分析業務請負、高萩事業場周辺業務請負

2. 当事会社の概要

会 社 名： アステラス製薬株式会社

設 立 年 月： 1923年4月

本社所在地： 東京都中央区日本橋本町2丁目3番11号

代 表 者： 代表取締役社長 竹中 登一

売 上 高： 8,620億円(2005年3月期連結)(注)

要 員 数： 約 15,500人(2005年4月1日時点、連結)

事 業 内 容： 医薬品、医薬部外品、食品、医療関連製品の製造・販売および輸出入、並びに在宅医療事業など

(注)アステラス製薬は、本年4月1日に山之内製薬と藤沢薬品の合併によって発足しました。このため売上高については、山之内製薬と藤沢薬品の2005年3月期の連結売上高を単純合算した金額を記載しております。

以 上